



屏風岩



Vol.16

小岐須溪谷の植物

屏風岩で知られる小岐須溪谷は鈴鹿川の支流である御幣川の上流部で、市内では豊かな自然が見られる貴重な地域となっています。今回は、小岐須溪谷で見られる代表的な植物を紹介します。

山地の植物

溪流沿いの林道を散策するとコクサギやボタンツル、コアジサイ、アケボノソウ、スズカアザミなど山地で見られる植物を観察することができます。スズカアザミは「鈴鹿」と名の付くアザミで、秋に淡い紫色の花を咲かせます。



コアジサイ (花:6月)



スズカアザミ (花:9月~11月)

カゴノキ林

屏風岩の急斜面には、クスノキ科のカゴノキ林が見られます。幹の樹皮が円い薄片となって脱落して、その跡が「鹿の子模様」となっていることから、この名が付けられました。



カゴノキ

石灰岩地域の植物

この地域の特徴は、石灰岩が広い範囲に分布しているため、石灰岩を好むクモノスシダやツルデンダ、バイカウツギなどの好石灰岩植物が見られますが、近年少なくなってきました。



クモノスシダ

フサザクラ林

渓谷の溪流沿いには、フサザクラを優占種とする樹高5~7mの林が見られ、林内にはタニウツギ、キブシなどの低木が、地面の近くにはイワタバコ、ヤシャゼンマイなどが生えています。



タニウツギ (花:4月~5月)



イワタバコ (花:6月~8月)

広報すずか 2008年12月5日号



先日、市民の方から広報グループへ手紙をいただきました。毎月5日号で連載している「鈴鹿の自然発見!」がとても興味深く、毎回楽しみにしていますという内容でした。大変ありがたく読ませていただきました。ほかには専門家の方からも高い評価をいただいています。

この連載は市民の皆さんに本市の貴重な自然を再認識していただければと、昨年の9月から始めたものです。編集者の立場ですが、わたしも担当課から届く原稿を毎月楽しみにしています。昆虫や植物など、まだまだご紹介する内容はいっぱいです。これからもどうぞお楽しみに。(眞)

表紙写真

ともし火街道

撮影場所 神戸八丁目
撮影日 平成20年11月1日
撮影者 畑 正子さん

9月1日からスーパーマーケットやドラッグストアなどの店舗でレジ袋の有料化が始まりました

